

JICSWニュース

No.26

Japan Institute of Community Social Work



「第18回地域福祉実践研究セミナー報告」

新潟市社会福祉協議会 地域福祉課
地域支援係 係長 池田 貴之

「新たな絆づくりとコミュニティソーシャルワーク～絆でつむぐ地域の未来～」をテーマに、第18回地域福祉実践研究セミナーを、8月30日～9月1日に新潟市で開催しました。当日は残暑厳しい新潟市に、県内外から350人を超える方々にご参加いただき感謝申し上げます。

三日間のセミナーを終え、合併により気候も風土もそれぞれ特色ある8区には、それぞれの地域課題があるとともに、豊かな人財が存在することを再確認させていただきました。全国のコミュニティソーシャルワーカーをはじめとした新たな出会いや地域の実践者と深まった絆を大切に、新潟市社協はセミナーでいただいた貴重なアドバイスを参考にしながら、コミュニティ

ーシャルワーク機能を発揮し、地域福祉実践を展開していく所存です。

最後に、セミナー開催にあたり、大橋理事長・菱沼先生をはじめ、研究所の先生方、地元の先生方、関係機関に多大なご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



「第18回地域福祉実践研究セミナー ワークショップ報告」

秋葉区社会福祉協議会 渡邊 雅弘

秋葉区では防災活動をきっかけとした地域づくりの方策についてのワークショップを実施しました。『日常的に実践可能なもの』という視点を重視し、活発な意見交換が行われました。「個別避難計画を作成してはどうか」「防災意識を高めるための福祉教育がもっと必要だ」「住民だけでなく関係機関同士の支援体制もしっかり構築しないとダメだ」などのあがったアイデアは、これからの地域づくりのヒントそのものでした。今後は個々のニーズ・地域のニーズに照らし合わせながら、新たな「絆」づくりにつなげていく実践に発展させていきたいと思ひます。

「地域福祉実践研究セミナーワークショップ報告」

中央区社会福祉協議会 渡邊 隆幸

中央区では、福祉教育をテーマに、①「地元コミュニティ協議会を中心にした学校と地域を一体に行う福祉教育」と、②「地域教育コーディネーターが繋ぐ地域と学校」の2つの事例発表を基に、ワークショップを行いました。参加者からは、「プログラムに地域の多くの人たちが関わる過程が大切である」などの意見が出され、今後の取組みに大きな参考になりました。今回のワークショップを通して、「福祉を教える教育」から「福祉をつくる教育」へ挑戦すること大切であると改めて感じさせられました。



参加学生から

《ワークショップに参加して》

日本社会事業大学 山田 貴美枝

今回、私は西区のワークショップに参加し、「助け合いのススメ～地域の力を見つけて活かす！～」をテーマに8グループに分かれて議論した。各自治会の活動報告を聞き、特に私が参考になった取り組みは、松海が丘第三自治会の「おたすけ隊」の活動である。「おたすけ隊」の存在は、年々確実に認知されており、住民の日常生活の支援を求めていることが分かった。

午後にはグループごとに地域課題を設定し、あらゆる分野で活躍する方々と意見交換を行った。ある自治会長をされている方が、「年齢を重ねることが好きになる、「好齡化社会」を目指したい」とのお話を聞き、それぞれの年齢層の役割、そしてできることを真剣に行うことが大切だと思った。

実践報告とワークショップを終えて、自治会役員さんの気持ちに気づき、熱意が伝わってきた。来春、地元に戻り就職するため、私の地域でも実行できないことがないか考察し続け、地元ならではの地域力を見つけないかと思った。(一部省略)

第18回地域福祉実践研究セミナー 担当理事 菱沼 幹男（日本社会事業大学）

初めての政令指定都市開催となった第18回地域福祉実践セミナーは、夏の暑さに負けない参加者の熱気に包まれて幕を閉じ、新たなCSW実践の幕開けとなった。

新潟市は平成の大合併により人口約80万人となり、14市町村が8つの行政区に再編された。社協では各区社協にコミュニティソーシャルワーカーを兼務で配置し、区レベルでのCSW実践を展開しつつあったことから、セミナーでは8つの区を会場に分科会を行うこととなった。開催にあたっては、セミナーが会場提供だけの通り過ぎゆくイベントとならないように、準備段階においては分科会で取り上げるテーマに関するニーズについて個別アセスメントと地域アセスメントを実施すること、将来に繋がる関係性を築く機会として活用することを意識して頂き、区社協の方々は見事に達成されていった。日常業務をこなしながらの準備であり、大変な苦勞があったと思われるが、各区の特色を活かした分科会を

生み出した区社協、そして全体をとりまとめた市社協の力量は今後のCSW実践に確実に活かされていくことと思う。

最後に第18回セミナーは新潟市、新潟市社協、新潟県内の大学等、多くの方々の熱意とご尽力によるものであり心より感謝申し上げます。





2012年度 春の公開研究会報告

「集引きこもり者及び長期不就労者等の実態把握及び支援経過 —CSW としての実践—」

藤里町社会福祉協議会（秋田県） 菊池 まゆみ



5月のセミナーでは、上記演題で実践発表の機会を頂きました。本当に『CSW としての実践』と言えるものだったのか、今、改めて考えております。試行錯誤のまま、引きこもり者等の支援事業に着手してから、5年が経過しました。地域の福祉ニーズを丁寧に拾い上げる過程で、それまで見えて

いなかった『引きこもり者の問題』を、地域の課題と捉えることが出来た。と、発表しました。ですが、引きこもり者支援事業が定着して必要性を実感する程に、これ程の地域課題が見えていなかった自分を痛感するのです。もし自分だったら。家庭内で、高齢者介護の問題と子どもの引きこもりの問題と、どちらのウェイトが高いか。私なら、子どもです。それなのに、社協職員が相談支援に入った場合、高齢者介護の問題にウェイトを置いてしまいます。その辺を見つめ直さなければ、CSW としての実践とは、とても言えないかと、反省しているところです。

「2012年度通常総会報告」

日本地域福祉研究所 安部 晴美

2012年5月27日 公益財団法人テクノエイド協会会議室において通常総会を開催いたしました。当日は、所員95名の出席（そのうち59名は委任状による参加）のもと、2011年事業報告、決算報告、そして2012年度事業計画、予算案などが審議され、全ての議案について承認されました。2011年度は、富山県氷見市、愛媛県四国中央市、山形県鶴岡市、新潟県新潟市で計画策定等に関する支援が行われ、コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修は、島根県、富山県、静岡県、秋田県、新潟県新潟市において開催され、本研究所開催の研修受講生も含めると約200の方が修了されました。

2012年度は、第18回地域福祉実践研修セミナーが新潟県新潟市で行われることとなり、新規事業としましては、新潟県燕市社会福祉協議会、東京都渋谷区社会福祉

協議会の地域福祉活動計画等の支援事業が行われます。

今年から、青山登志夫氏（元：静岡英和学院大学）、高橋信幸氏（元：長崎国際大学）國光登志子氏（現：立正大学大学院講師）が研究所の主任研究員として、研究所の様々な事業にご協力いただけることになりました。今まで以上に、地域の「草の根支援」ができる環境が整いました。会員のみなさま、多くの地域福祉を実践されているみなさまの声にお応えできるように、当研究所の活動を進めてまいります。まずは、声をかけてください！！





情報委員会からのお知らせ

日本地域福祉研究所 情報委員会担当理事 金井 敏



情報委員会では、研究所の活動を積極的に発信するため、ホームページのリニューアルとFacebookの活用に取り組んでいます。ホームページは研究所への情報の入り口として重

要ですが、入会案内や情報が探しにくい、事務局で更新できるページが少ないなどの課題があります。デザインやコンテンツを刷新し、親しみやすくアクセシビリティの高いホームページを目指し、改訂作業をすすめています。また、Facebookに研究所のページを立ち上げました。リアルタイムの情報発信と会員および実践者との情報交流を促進します。是非、アクセスしてご活用ください。

◆事務所環境整備にご寄付頂きました。

研究所事務所2階会議室の環境整備につき、下記の方々からご寄付頂きました。おかげ様で充実した機能を持つ会議室を設置することができました。厚くお礼申し上げます。

大橋 謙策様	國光 登志子様
宮城 孝様	上野谷 加代子様
田中 英樹様	越智 あゆみ様
小野 敏明様	小林 雅彦様
原田 正樹様	難波 貢様
佐藤 陽様	宮内 智様
本田 芳香様	稲田 彰様
鷹野 吉章様	乗松 央様
菱沼 幹男様	島村 武様
神山 裕美様	三津井 司様
岡村 英雄様	田代 秀之様
金井 敏様	高石 利博様
菊池 達美様	安部 能成様
青山 登志夫様	安部 晴美様
高橋 信幸様	高石 豪様

- 呉 世雄氏（法政大学特別研究教育機構）
- 浅野 友希美氏（三種町社会福祉協議会）
- 忠澤 智巳氏（荒川区福祉部障害者福祉課）
- 山下 真理子氏（世田谷区社会福祉協議会）
- 鳴海 由真氏（佐々総合病院）
- 小郷 コリ氏（赤羽高齢者あんしんセンター）
- 幾野 圭裕氏（太陽のしずく）

◆研究所からのお知らせ

《所員（会員）募集のお知らせ》

当研究所では、所員（会員）を募集しております。当研究所への入会に関心をお持ちの方は、事務局までご連絡頂ければ、入会案内書等を送付させていただきます。また、下記ホームページにも入会書を掲載しております。ダウンロードしてご活用下さい。

日本地域福祉研究所 HP <http://www.jicw.jp>

《貸会議室あります♪》

今年度より、当研究所は貸会議室サービスを始めました。10名～40名規模の会議や研修に最適で、市ヶ谷駅から徒歩4分で便利です。利用料金もお安く設定しており、備品等も充実しております。自信アリデス！ご希望の方は事務局までお問合せ下さい♪

《水俣セミナーへの準備が進んでいます！》

2013年度第19回地域福祉実践研究セミナーは水俣市で開催予定です（2013年8月29日～31日）。既に、担当者会議や打ち合わせが実施されています。詳細が決まり次第随時お知らせいたします。乞うご期待！



◆新入会所員のご紹介

2012年3月～9月までに、以下の7名の方が新たに入会されました（2012年11月現在で所員総数は、189名）。

■事務局便り■

高橋主任研究員にご協力頂きながら、最新の地域福祉情報収集にとりかかっています。情報を入手したい方はぜひお立ち寄り下さい。（安部）

発行日 2012年〇〇月〇〇日 発行人 大橋謙策

特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-27 ロリエ市ヶ谷3階
TEL: 03-5225-0237 FAX: 03-5225-0238 E-mail: jicw@nifty.com
URL: <http://www.jicw.jp>

